

令和2年度 第2回霧島市子ども・子育て会議（会議要旨）

開催日時	令和2年8月22日（土）14:00～15:30		
開催場所	国分シビックセンター 複合施設棟 3階 国分公民館 大会議室		
出席者	委員	松崎 優、山口 義幸、若松 忠洋、立藏 順子、田間 美沙緒、谷口 昌枝、坂元 京子、磯野 直子、若松 洋子、西川 純子、鈴木 誠、迫 恵理子、戸越 あかね	
	事務局	西田 保健福祉部長、砂田 保健福祉部参事兼子育て支援課長、出口 子育て支援課子ども・子育てG長、松下 同課同グループサブリーダー、野村 同課保育・幼稚園グループ長、竹内 同課同グループサブリーダー	
欠席者	無		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
<p>会次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 保健福祉部長あいさつ</li> <li>3. 委員紹介</li> <li>4. 協議等             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子ども・子育て会議の役割について</li> <li>(2) 会長・副会長の選出について</li> <li>(3) 教育・保育施設の定員変更等について</li> <li>(4) 霧島市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について</li> <li>(5) 霧島市ふるさと創生有識者会議委員の選出について</li> <li>(6) その他</li> </ol> </li> <li>5. 閉 会</li> </ol>			
<p>【会議要旨】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 保健福祉部長あいさつ</li> <li>3 委員紹介</li> <li>4 協議等             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子ども・子育て会議の目的及び委員の役割について                 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ・事務局から説明を行う。                 </div> </li> <li>(2) 会長・副会長の選出について                 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ・委員提案として、会長に山口委員、副会長に田間委員が推薦される。                      ・全委員が承認し、会長を山口委員とし、副会長に田間委員とする。                 </div> </li> </ol> </li> </ol>			

### (3) 教育・保育施設の定員変更等について

事務局が一括して説明し、各施設の変更について、承認される。

#### 主な意見等

- ・ (仮称) 重久保育園は、民営化を行って、定員は変わらないようだが、何か変わるのか。
- 公募の前提条件として、現在の保育環境を引き継ぐとしているため、当面変化はないこととなる。
- ・ 認可基準の変化はあるのか。
- 公営、民営による変化はない。
- ・ 宮内認定こども園の教育と保育の定員数を変更しているのは、なぜか。
- 定員変更については、各施設の意向に基づく、変更である。
- ・ 教育と保育の違いは何か。
- 教育については、いわゆる幼稚園部分であり、預かりの時間が、4時間から5時間程度である。保育については、短くても8時間、長くても11時間の保育時間である。
- 保育については、両親が共働きであって子どもを保育することが困難である等の保育の必要性を要するものである。
- ・ 今後、定員の見直しはあるのか。
- 今後も定員については、都度見直しをすることも想定される。

### (4) 霧島市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

事務局が一括して説明し、承認される。

#### 主な意見等

- ・ 教育・保育提供体制の確保について、計画より若干遅れるとあるが、保育士の確保ができないということを聞く。保育士として働く環境は整えられているのか。
- 施設運営者として、事例を情報提供する。これまでも保育士の賃金等の改善を図り、人材を確保に努めているが、働く側も「働き方改革」のもと、様々な変化がある状況である。
- 人材を育成する立場にいるものとして、情報提供する。これまでも、卒業生のほとんどが保育士として働いている状況にある。しかしながら、学生数は減ってきている。
- ・ ファミリーサポートセンター事業は、計画より大幅に遅れているとの認識だが、市民生活等を向上させることができたとしているが、妥当か。
- 計画当初に掲げた目標値に比較して、落ち込みはするものの、事業そのものは、市民生活の向上に資するものであった。

(5) 霧島市ふるさと創生有識者会議委員の選出について

- ・事務局が一括して説明する。
- ・戸越委員が推薦され、全会一致で承認される。

(6) その他

特になし

5. 閉会